



## 2021年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月14日

上場会社名 ユーピーアール株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7065 URL <https://www.upr-net.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 酒田 義矢  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 市川 善教 TEL 03 (3593) 1728  
 四半期報告書提出予定日 2021年7月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年8月期第3四半期の連結業績（2020年9月1日～2021年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第3四半期	9,716	3.2	386	△58.1	656	△41.6	399	△47.9
2020年8月期第3四半期	9,418	8.8	923	31.5	1,124	34.6	765	65.6

(注) 包括利益 2021年8月期第3四半期 402百万円 (△45.5%) 2020年8月期第3四半期 738百万円 (58.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第3四半期	52.13	—
2020年8月期第3四半期	99.98	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第3四半期	19,932	7,046	35.3
2020年8月期	20,029	6,743	33.6

(参考) 自己資本 2021年8月期第3四半期 7,026百万円 2020年8月期 6,723百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	—	—	13.00	13.00
2021年8月期	—	—	—	—	—
2021年8月期（予想）	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年8月期の連結業績予想（2020年9月1日～2021年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,850	0.9	492	△56.6	800	△42.1	515	△47.6	67.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期3Q	7,660,000株	2020年8月期	7,660,000株
② 期末自己株式数	2021年8月期3Q	402株	2020年8月期	344株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期3Q	7,659,629株	2020年8月期3Q	7,659,727株

(注) 当社は、2019年12月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響による国内外での経済活動の急速な落ち込みから、段階的な経済活動の再開等により持ち直しの動きを見せておりましたが、3度目の緊急事態宣言の発出により経済活動は再び停滞し、依然として厳しい環境が続きましました。

このような環境の中、当社グループは、当連結会計年度が初年度となる「中期経営計画2025」（2021年8月期から2025年8月期）に基づき、Social Sharing Supporterとして更なる成長を図るため「5つの事業（パレット・物流IoT・アシストスーツ・ICT・ビークルソリューション）の柱を育成」、「海外展開の加速」に対する取組を強化してまいりました。

当社グループは、業種、規模、地域などが様々に異なる幅広い顧客と取引しており、新型コロナウイルス感染症の当社グループ業績への影響はマイナス面とプラス面の両方ありましたが、長期化によりマイナス面の影響が強くなる結果となりました。保管用のレンタルパレットは、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化に伴う生産調整期間の延長、コンテナ不足による輸入貨物の減少等の要因により在庫量が回復せず需要は低迷しました。また、3度目の緊急事態宣言とまん延防止等重点措置により営業活動の制限も長期化し、新規顧客獲得数の低迷も続きましました。一方で、輸送用のレンタルパレットについては、引き続き家庭紙メーカーの共同利用・共同回収、玄米輸送、アクティブRFIDタグを搭載した「スマートパレット」がコロナ禍における物流効率化の効果により拡大しました。また、保管貨物の減少により、倉庫会社を中心に物流機器の最低必要数が明確となり、パレットの自社購入需要が高まった結果、パレット等物流機器販売は順調に推移しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は9,716百万円（対前年同四半期比3.2%増加）、営業利益は386百万円（同58.1%減少）、経常利益は656百万円（同41.6%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は399百万円（同47.9%減少）となりました。

各セグメントの経営成績は次の通りであります。

#### （物流事業）

トラックドライバーの高齢化や人手不足が引き続き深刻化しており、総合物流施策大綱（2021年度～2025年度）においても、労働力不足対策と物流構造改革の推進（担い手にやさしい物流）などが提言されるなど、各企業の物流に対する関心は引き続き高く、トラックドライバーの長時間労働の削減に繋がる輸送用レンタルパレットの需要は高い水準で推移し、当社のレンタルパレットを活用した家庭紙メーカーの共同利用・共同回収は引き続き取扱量が拡大しました。一方、保管用のレンタルパレットは、段階的な経済の回復により荷動きの回復も見られましたが、企業の在庫は季節変動の保管需要が見込めるまでの回復には至らず、需要の減少が続きましました。海外事業は概ね計画通り推移しました。物流IoT事業は、医薬品等の高付加価値商品輸送（GDP）で貢献しました。アシストスーツ事業では、株式会社ビックカメラグループでの「サポートジャケットBb+FIT」の販売が貢献しました。また、展示会での来場者数は通常の半数以下になる状況は続きましましたが、オンライン体験会の開催継続により新規顧客との接触機会を確保しました。

以上の結果、物流事業では、売上高9,026百万円（対前年同四半期比3.2%増加）、セグメント利益1,282百万円（同26.4%減少）となりました。

#### （コネクティッド事業）

遠隔監視ソリューションにおいては、駐車場や工場設備等の遠隔監視に係る機器販売及び利用料が引き続き堅調に推移しました。また、HACCP導入支援システム「UPR HACCP」も外食業界が新型コロナウイルス感染症の影響を受けるなか、予定通りサービスインしました。カーシェアリングシステムのレンタル及び販売については、緊急事態宣言下での移動制限の影響を受けながらカーシェアリング事業者の一時的な納車遅延が発生したものの、概ね顧客の増車計画に沿って計画通り推移しました。

以上の結果、コネクティッド事業では売上高690百万円（対前年同四半期比2.8%増加）、セグメント利益1百万円（同96.0%減少）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は6,184百万円となり、前連結会計年度末に比べ78百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が82百万円増加したことによるものであります。固定資産は13,747百万円となり、前連結会計年度末に比べ175百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が74百万円減少したこと及び投資その他の資産が85百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は19,932百万円となり、前連結会計年度末に比べ97百万円減少いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は5,665百万円となり、前連結会計年度末に比べ732百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が2,000百万円増加した一方で、買掛金が1,034百万円減少したこと及び未払法人税等が220百万円減少したことによるものであります。また固定負債は7,220百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,132百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が1,181百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は12,885百万円となり、前連結会計年度末に比べ400百万円減少いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は7,046百万円となり、前連結会計年度末に比べ303百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期の業績予想につきましては、最近の実績の動向を踏まえ、2020年10月15日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2021年8月期通期業績予想の修正について」をご覧ください。

なお、上記の通期業績予想は現時点において入手可能な情報に基づいて作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,658,116	3,741,109
受取手形及び売掛金	1,727,076	1,671,962
電子記録債権	136,350	111,695
商品	202,300	416,607
原材料及び貯蔵品	25,993	13,899
その他	359,512	231,627
貸倒引当金	△3,765	△2,456
流動資産合計	6,105,584	6,184,446
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産（純額）	10,627,165	10,005,361
その他（純額）	2,263,573	2,810,409
有形固定資産合計	12,890,739	12,815,770
無形固定資産	346,117	330,937
投資その他の資産		
その他	698,706	612,957
貸倒引当金	△11,950	△11,950
投資その他の資産合計	686,756	601,007
固定資産合計	13,923,613	13,747,715
資産合計	20,029,198	19,932,161

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,420,777	1,386,617
短期借入金	—	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,575,312	1,575,352
未払法人税等	314,636	94,404
賞与引当金	242,228	268,267
その他	380,344	340,927
流動負債合計	4,933,298	5,665,568
固定負債		
長期借入金	7,636,146	6,454,622
役員退職慰労引当金	487,568	515,767
退職給付に係る負債	212,269	231,139
資産除去債務	14,941	15,487
その他	1,584	3,039
固定負債合計	8,352,508	7,220,055
負債合計	13,285,807	12,885,623
純資産の部		
株主資本		
資本金	96,000	96,000
資本剰余金	391,349	391,349
利益剰余金	6,247,517	6,547,202
自己株式	△495	△706
株主資本合計	6,734,371	7,033,844
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,765	3,435
為替換算調整勘定	△12,693	△10,690
その他の包括利益累計額合計	△10,927	△7,254
非支配株主持分	19,947	19,947
純資産合計	6,743,391	7,046,538
負債純資産合計	20,029,198	19,932,161

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年9月1日 至 2020年5月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年9月1日 至 2021年5月31日）
売上高	9,418,339	9,716,939
売上原価	5,959,400	6,731,211
売上総利益	3,458,939	2,985,727
販売費及び一般管理費	2,535,407	2,599,002
営業利益	923,531	386,725
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,076	37
受取補償金	183,142	186,172
保険解約返戻金	—	75,057
その他	49,298	41,221
営業外収益合計	234,516	302,489
営業外費用		
支払利息	25,237	31,369
為替差損	7,134	—
その他	991	1,122
営業外費用合計	33,363	32,491
経常利益	1,124,685	656,722
特別利益		
固定資産売却益	2,691	223
投資有価証券売却益	66,724	—
特別利益合計	69,416	223
特別損失		
固定資産除却損	104	7,883
投資有価証券評価損	—	6,058
特別損失合計	104	13,942
税金等調整前四半期純利益	1,193,997	643,004
法人税、住民税及び事業税	426,870	220,853
法人税等調整額	1,336	22,890
法人税等合計	428,206	243,743
四半期純利益	765,790	399,260
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	765,790	399,260



（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年9月1日 至 2020年5月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年9月1日 至 2021年5月31日）
四半期純利益	765,790	399,260
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29,458	1,670
為替換算調整勘定	2,481	2,003
その他の包括利益合計	△26,976	3,673
四半期包括利益	738,813	402,933
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	738,813	402,933
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年9月1日 至 2020年5月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	コネクティッド 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,746,376	671,963	9,418,339	—	9,418,339
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	8,746,376	671,963	9,418,339	—	9,418,339
セグメント利益	1,741,665	34,080	1,775,745	△651,060	1,124,685

(注) 1. セグメント利益の調整額△651,060千円には、セグメント間取引消去△125千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△650,935千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに営業外損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2020年9月1日 至 2021年5月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	コネクティッド 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,026,360	690,579	9,716,939	—	9,716,939
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	9,026,360	690,579	9,716,939	—	9,716,939
セグメント利益	1,282,337	1,370	1,283,707	△626,984	656,722

(注) 1. セグメント利益の調整額△626,984千円には、セグメント間取引消去4千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△626,988千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに営業外損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。